

Papersleeve Reissue Staff
Artwork Research: Masato Wakatsuki
Artwork Coordinator: Chihiro Nozaki (FACE DESIGN)
Kenji Saiki (UNIVERSAL MUSIC LLC)
Product Manager: Minoru Harada
(Universal International, A UNIVERSAL MUSIC COMPANY)

UICY-94177/8

*ユニバーサルの洋楽情報満載!! <http://www.universal-music.co.jp/u-pop/>

■ユニバーサル ミュージック携帯サイトへのアクセス方法

- ◇iモードをご利用の方 メニューリスト⇒映画/音楽/アーティスト⇒音楽情報⇒ユニバーサル ミュージック
- ◇EZwebをご利用の方 au oneトップ⇒カテゴリ⇒音楽・映画・芸能⇒音楽情報⇒ユニバーサル ミュージック
- ◇Yahoo!ケータイをご利用の方 メニューリスト⇒芸能・映画・音楽⇒レコード会社⇒ユニバーサル ミュージック

取り扱い上のご注意 ●ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱って下さい。●ディスクが汚れたときは、メガネふきのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽くふき取って下さい。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないで下さい。●ディスクは陶器共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いて、シール等を貼付しないで下さい。●ひび割れや変形、又は接着剤等で補修したディスクは、危険ですから絶対に使用しないで下さい。

保管上のご注意 ●直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所には保管しないで下さい。●ディスクは使用後、元のケースに入れて保管して下さい。●ジャケットや付属の投込み類が変形したり変色しないよう注意して下さい。



LYNYRD SKYNYRD / STREET SURVIVORS <DELUXE EDITION>

レーナード・スキナード / ストリート・サヴァイヴァーズ <デラックス・エディション>

<DISC ONE>

- 1 ホワッツ・ユア・ネーム
WHAT'S YOUR NAME
- 2 ザット・スメル
THAT SMELL
- 3 ワン・モア・タイム
ONE MORE TIME
- 4 アイ・ノウ・ア・リトル
I KNOW A LITTLE
- 5 ユー・ガット・ザット・ライト
YOU GOT THAT RIGHT
- 6 アイ・ネヴァー・ドリームド
I NEVER DREAMED
- 7 ホンキー・トンク・ナイト・タイム・マン
HONKY TONK NIGHT TIME MAN
- 8 エイント・ノー・グッド・ライフ
AIN'T NO GOOD LIFE

<DISC TWO>

- 1 ホワッツ・ユア・ネーム (オリジナル・ヴァージョン)
WHAT'S YOUR NAME (ORIGINAL VERSION)
- 2 ザット・スメル (オリジナル・ヴァージョン)
THAT SMELL (ORIGINAL VERSION)
- 3 ユー・ガット・ザット・ライト (オリジナル・ヴァージョン)
YOU GOT THAT RIGHT (ORIGINAL VERSION)
- 4 アイ・ネヴァー・ドリームド (オリジナル・ヴァージョン)
I NEVER DREAMED (ORIGINAL VERSION)
- 5 ジョージア・ピーチズ
GEORGIA PEACHES
- 6 スウィート・リトル・ミッシー (オリジナル・ヴァージョン)
SWEET LITTLE MISSY (ORIGINAL VERSION)
- 7 スウィート・リトル・ミッシー (デモ)
SEEET LITTLE MISSY (DEMO)
- 8 エイント・ノー・グッド・ライフ (オリジナル・ヴァージョン)
AIN'T NO GOOD LIFE (ORIGINAL VERSION)
- 9 ザット・スメル (コンプリート・オリジナル・ヴァージョン)
THAT SMELL (COMPLETE ORIGINAL VERSION)
- 10 ジャクソンビル・キッド (AKAホンキー・トンク・ナイト・タイム・マン)
JACKSONVILLE KID (AKA HONKY TONK NIGHT TIME MAN)
- 11 ユー・ガット・ザット・ライト (ライブ)
YOU GOT THAT RIGHT (LIVE)
- 12 ザット・スメル (ライブ)
THAT SMELL (LIVE)
- 13 エイント・ノー・グッド・ライフ (ライブ)
AIN'T NO GOOD LIFE (LIVE)
- 14 ホワッツ・ユア・ネーム (ライブ)
WHAT'S YOUR NAME (LIVE)
- 15 ギミー・スリー・ステップス (ライブ)
GIMME THREE STEPS (LIVE)

ロニー・ヴァン・ザントはアルバム『ストリート・サヴァイヴァーズ』をレーナード・スキナードの最高傑作だと考えていた。

制作に一年近くを費やした。実は2回もレコードを作ったのだ。最初のヴァージョンは1976年から77年の冬から春にかけて、マイアミのクライテリア・スタジオでアトランティック・レコードの伝説的プロデューサー、トム・ダウドのもとでレコーディングされた。出来上がりに満足できなかったヴァン・ザントとスキナードは、「古巣」のアトランタのスタジオ・ワンに帰ることにした。1973年に、アル・クーバーのプロデュースでファースト・アルバム『レーナード・スキナード』を録音したスタジオだ。今度は、スキナードは自分たちの音楽の命運に責任を持ち、『ストリート・サヴァイヴァーズ』を自分たちで作ら上げた。これはレーナード・スキナードというバンドが最高のアルバムを作り上げることでついに成長を遂げた物語だ。しかし最高の勝利をおさめた瞬間に、運命は彼らに致命的な打撃を与えたのだった。

今回のデラックス・エディションは、『ストリート・サヴァイヴァーズ』のリリースされなかったクライテリア・スタジオのヴァージョンと、スタジオ・ワンで作直した最終

的にリリースされたアルバム・ヴァージョンを両方、初めて完全に収録してお届けする。注目のボーナス・トラックは、飛行機事故の二ヶ月足らず前、現存する最後の録音で、『ストリート・サヴァイヴァーズ』ツアーがどんなものになるはずだったかを窺わせてくれるものだ。

「ウィスキーのボトル、
真新しい車、
オークの木、
おまえらがおれの行く手をふさいでいる」

—— ロニー・ヴァン・ザント
「ザット・スマル」1977年

1976年9月、レーナード・スキナードの評判はロックンロール界で最悪だった。その3年前にMCAレコードと契約して以来、フロリダ州ジャクソンビル出身の乱暴な「酔いどれロックンローラー」たちは、ゴールド・ディスクやプラチナ・ディスクを通算3回も達成しているのに、そうしたレコードのどれにも劣らず飲酒やけんか、厄介ごと全般で評判になっていた。しかし、演奏中巨大な南部連合旗をステージの背景に掲げていたレーナード・スキナードは、アメリカでトップ・クラスの実力のあるバンドになっていた。彼ら

の「南部の酔っぱらいロック」と過酷な300日間の「拷問ツアー」は伝説に残るものだった。「きつい暮らしだけど、どうして心配しなきゃいけないんだ」と、リード・ヴォーカルのロニー・ヴァン・ザントは1976年《タイム》誌に掲載された特集記事のなかで語っている。「おれたちが引きつけるのは酔っぱらいと踊りにやってくる騒々しいガキがほとんどだ」

1976年のレイバー・デイの週末(9月第1週)、スキナードの新しい2枚組ライブLP『ワン・モア・フロム・ザ・ロード』が発売されるちょうど一週間前、バンドの評判はさらに悪化した。来るべきツアーに備えて故郷ジャクソンビルに戻っていた間に、結成以来のギタリストのふたり、ゲイリー・ロッシントンとアレン・コリンズがそれぞれ飲酒とドラッグに関係した自動車事故を起こしたのだ。最初にコリンズが止まっている車にぶつかり、そのまま空いていた駐車場まで突き進んだ。幸い、彼自身は無傷で済んだ。ロッシントンはそれほど幸運ではなかった。フォード・トリノの新車を運転中にアクセルを踏んだまま意識を失い、車は暴走して電柱を倒し、オークの木を真っ二つにし、家屋に7000ドル相当の損害を与えた。「ハンドルを握っている時に酔っぱらって、運転ができないなんてとんでも

ないことだよ」ヴァン・ザントはジャーナリストのキャメロン・クロウに語った。「それでおれはあいつにどれだけ怒ったことか。全くの大馬鹿者だって、病院のベッドにいるあいつに言ったんだ」

こうした災難が起きる前から、既にヴァン・ザントは自分の「暴力的な」やり方を根本的に変えはじめていた。以前の「5年間のアルコール中毒」のあいだ、ヴァン・ザントはめちゃくちゃなホテルの部屋、ウィスキー漬けの演奏、ライブの最中での、間違いをめぐっての殴り合い、といった痕跡を残していた。しかし、1976年9月16日、ツアー開始の二日前に娘のメロディーが生まれたことで、ヴァン・ザントは分別を身につける節目を迎えた。「自分の中の一番大きい変化は、初めて本気で将来のことを考えてるってことだ」ヴァン・ザントは語る。「娘が生まれて、ずっとそばにいて成長を見守るつもりだ。それに、過去10年間自分を酷使してきたツケを回収しないと」

この新しい態度は、まもなくヴァン・ザントの曲作りに自然に表れてきた。スキナードの作詞者は「基本的に波のある書き手」で、バンドがコンスタントにツアーに出ていると、「自分の書くものとして標準レベルに達

「スウィート・リトル・ミッシー」はクライテリアでのセッションに先立ち、ジャクソンビル、リバーサイド・アベニューのリハーサル・スタジオでデモとして録音されていた。そのときの録音にはライブの音響エンジニア、ケヴィン・エルソンが当たっていたが、そのエルソンを招き、トラックを整理する間に完成したクライテリアのアルバムを聴いてもらった。エルソンはできあがった録音について歯に衣着せずに意見を述べ、「こんなアルバムをリリースしたら、おまえらの仕事はおしまいだぞ」と、驚くメンバーに向かって告げた。「ジャクソンビルのリハーサル・スタジオで録音した8トラックのデモのほうが、もっとパワーと活気に溢れてたぞって言ってやったんだ。あいつらはただただトム・ダウドを崇拝してた。ロニーとおれはもう少しで殴り合いになるところだったが、そのときステイヴ・ゲインズが、間に入っておれに賛成だって言ってくれたんだ。おれにアトランタのスタジオ・ワンまで曲を持って行かせて、アーティマス・バイルにドラマ・パートを録りなおさせてくれた。それからデモと新しいヴァージョンをニューヨークまで持っていき、バンドとマネージャーのピーター・ラッジに聴かせた。誰もがアルバムを作り直さなきゃいけないと同意したよ」

春の南部ツアーと、夏のアメリカ全土を巡るツアーが既にスケジュールに組まれていたので、スキナードはその夏後半にアトランタでの時間を確保し、それからツアー契約を完遂するために出発した。7月下旬、バンドはついにジョージア州ドラヴィルにあるスタジオ・ワンに到着した。ここは「フリー・バード」「スウィート・ホーム・アラバマ」「サタデー・ナイト・スペシャル」という大ヒットを録音したスタジオで、ここでスタジオ専属の録音技師である「気さくない奴」ロドニー・ミルズと一緒にアルバムを作り直すことにしたのだ。「スタジオ・ワンに戻ってきたことで、おれたちは家に帰ってきたような気がする」当時ヴァン・ザントは語った。「おれたちのやってきたことで、満足のいく出来だったものはみんな、ここで録音したんだ。ひとつの場所で成功しているなら、それを台無しにする必要がどこにある？ オーバーダビングやパンチングの切り貼りをどっさりやるよりも、おれたちはライブで行きたいし、このスタジオはとてもライブ向きの空間なんだ。このレコードのほとんどはコンサートで演奏してきた曲だから、調子はわかってるし、リハーサルにあまり時間をかけなくてもいい。一晩で編曲して、それからスタジオ入りして、録音する、という手順だ」

当時ダウドはまだロッド・スチュワートとのレコーディング・セッションを仕上げている最中だったので、スタジオ・ワンに行けるまでの一週間、技師のバリー・ルドルフを自分の「代理人」としてバンドと仕事をするように送りこんだ。ルドルフは結局、スタジオ・ワンで「ザット・スメル」と「ユー・ガッド・ザット・ライト」の新しいヴァージョンを再録音することになった。ルドルフはカントリー・ミュージックのアウトロー、ウェイロン・ジェニングスと仕事をしたことがあったが、ウェイロン・ジェニングスはヴァン・ザントにとってヒーローのひとりだった。そのことがきっかけで、マール・ハガードの「ホンキー・トック・ナイト・タイム・マン」のカヴァーを録音することになった。「マールは世界中でもおれの大好きなソングライターで演奏家だ」とヴァン・ザントは言っていた。ヴァン・ザントは考え直して、「ジャクソンビル・キッド」という題のハガードの曲に元の歌詞の代わりに自伝的な歌詞をつけた。彼は代わりにヴォーカル・トラックを録音はしたものの、どうもアルバムには使わないことになったようだ。

「ジャクソンビル・キッド」はロニー・ヴァン・ザントが作詞し、レコーディングした最後の曲になった。今回ボーナス・トラック

として収められている。この音楽による最後の自己主張の中で、ジャクソンビルのウェストサイドで育ったこと、故郷に拒絶されたという意識、成功し名声を得ても続く孤立感、自分も巻き込まれるように感じる新しい音楽の潮流の高まりについての解決しきれない感情をすべてまとめている。実際に、彼の崇拜するマール・ハガードとの合作というにふさわしい。

一方、ゲインズはスタジオ・ワンでのセッションの間にスキナードへの貢献がさらに高まりつづけ、スキナード加入前のオリジナル曲「アイ・ノウ・ア・リトル」を録音した。この曲はオクラホマ出身のギタリスト、ゲインズの名人芸といえるフラット・ピッキングが特徴だ。また、ゲインズは「アイ・ネヴァー・ドリームド」に新しいエンディングのソロを加え、ヴァン・ザントは自分のリード・ヴォーカルのパートを録りなおし、バイルが新しいドラムのトラックを加えた。

ミルズとエルソンはアルバムに最後の仕上げを施し、クライテリアで録った「エイント・ノー・グッド・ライフ」のマスターをリミックスし、アル・クーバーのプロデュースした『セカンド・ヘルピング』の中の「コール・ミー・ザ・ブリーズ」を思い出させる管

楽器のアレンジを「ホワッツ・ユア・ネイム」に加えた。最終的にバンドはアルバムのラインナップから「スウィート・リトル・ミッシェー」と「ジョージア・ピーチズ」を外すことに決め、代わりに「ホンキー・トック・ナイト・タイム・マン」と「ワン・モア・タイム」を入れることにした。後者は未発売のアルバムからの6年越しの曲で、1971年にジミー・ジョンソンのプロデュースで、マッスル・シヨールズの有名なリズム・セクションを交えて録音されたものだったが、バンドはこれに新しくオーバーダビングを加え磨き上げた。「もうひとつの『フリー・バード』になったかもしれない」とヴァン・ザントは言った。

8月下旬にヴァン・ザントとミルズがロサンゼルスでマスター・レコードを作るために出かけたとき、マスタリングの設備でダウドにばったり会った。プロデューサーはアルバムの原盤を仕上げるのに手を貸したが、結局アルバムから自分の名前は外した。最終的なクレジットでは、ミルズがスペシャル・プロデューサーとして表示され、エルソンとルドルフはスペシャル・エンジニアリングと表示された。トップになるまで耐え抜いてきた混乱にちなんで、レコードは『ストリート・サヴァイヴァーズ』というタイトルに決まった。ジャケット写真はメンバーが炎に包まれて

堂々と立っている姿だった。「これまでにおれたちが作ってきたどのアルバムよりも『ストリート・サヴァイヴァーズ』には多くのものをつぎ込んだ」とヴァン・ザントは語った。『『スウィート・ホーム・アラバマ』のような大ヒット・シングルはないかもしれないが、おれたちのやってきた中で最高だ』

『ストリート・サヴァイヴァーズ』は最も期待されたスキナードのアルバムで、50万ユニット以上出荷され、たちまちゴールド・レコードとなった。バンドの「サヴァイヴァーズ・ツアー」ではニューヨークのマディソン・スクエア・ガーデンで初めて主役を務める予定で、ヴァン・ザントにとってはバンドがロック界のスーパー・エリートに登り詰めたことを象徴するものだった。

悲劇的なことに、ヴァン・ザントとゲインズは生きて『ストリート・サヴァイヴァーズ』の成功を見届けることはなかった。ツアーの第一週、1977年10月17日にLPが発売されたちょうど三日後、バンドのツアー用飛行機は燃料切れでミシシッピ州の森林に墜落、ヴァン・ザント、ゲインズと姉のキャシー、ツアー・マネージャーのディーン・キルパトリックが死亡し、その他のメンバーやクルーも重体となった。

「ゲイリー・ロッシントン、アレン・コリンズ、比較の後から入ったスティーヴ・ゲインズという刺激的な三本のギターが、LPのジャケットの炎と同じ荒れ狂う強さで燃えている」と、飛行機事故と同じ週に出た『ビルボード』誌は『ストリート・サヴァイヴァーズ』の好意的なレビューを載せている。「ロニー・ヴァン・ザントのヴォーカルはこれまで通りガッツがあり、純粋な南部のブルース・ブギを一番よく反映している。8曲のどれもが、猛烈なパワーのこもった、弱まることのない怒濤のギターにのせて演奏される。これは最高のロックンロール・ブギだ』

1977年10月の悲劇的事件がなければスキナードがどれだけビッグになっていたかは知るすべがないが、あらゆる点から考えるとスキナードがサザン・ロックというジャンルをこじ開け、イギリスのローリング・ストーンズに相当するアメリカを代表するバンドになろうとしていたと言える。とは言っても、飛行機事故によって『ストリート・サヴァイヴァーズ』はマルチ・プラチナの地位に押し上げられ、やがて「ホワッツ・ユア・ネイム」はシングル・チャートのトップ10に食い込むことになるのだった。

しかし、結局のところ、聴き手を特に引き

つけたのは「ザット・スマル」とそのバンドの運命を予言するような不気味な予兆だった——コリンズ、ロッシントン、ゲインズというすばらしい3人のギターの交錯がヴァン・ザントの激しいヴォーカルに重なり、ロックンロール界最高のバンドのひとつであることを証明する、芸術的なロックのダークなシンフォニーを奏でている。

1977年8月、カリフォルニアでのライブ

「次世代のローリング・ストーンズになるかもしれない」と、1977年の夏後半、カリフォルニアとネヴァダの短いミニ・ツアーでレーナード・スキナードの出演契約をとりつけた一人のプロモーターが語っていた。「ライブは満員で、クレイジーだったよ！今のところ、おそらくライブ演奏では最高の演奏家たちだった」

8月下旬、レーナード・スキナードは『ストリート・サヴァイヴァーズ』のレコーディングを終えたところで、このアルバムによってフロリダ出身の彼らはアメリカのポップ・ミュージック界の主流に入るのだと感じていた。「音楽的には、おれたちはいろいろ違った方法でやっている」。新しいレコードについて、リード・ヴォーカルのロニー・ヴァ

ン・ザントは当時語っていた。「カントリー、ブルース、ハード・ロック、ジャズ、R&Bの影響をうまく組み合わせたものだ。8曲とも、みんなそれぞれ違っている。狙いは新しいファンを獲得することだけど、根本的には、おれたちはおれたちだ」

スキナードはやりかけの仕事を処理するためカリフォルニアに向かった。これには『ストリート・サヴァイヴァーズ』のマスタリングを承認すること、アルバムのジャケット写真をユニバーサル・スタジオの舞台裏で撮影すること、公開予定のミュージカル映画「グリース」と一緒にリリースされる短い伝記映画のために、コンサートの映像を撮影することが含まれていた。また、ファンに対してもやり残した仕事があった。アナハイム・スタジアムでの、レーナード・スキナードが主役を務めるフェスティバル・ショーや、ラスベガスのアラジン劇場での初めての公演などだ。しかしまず彼らはカリフォルニア州フレズノでの再公演に出かけた。「ストリート・サヴァイヴァーズ」を録音したばかりで、フレズノの公演はスキナードが簡単に中止にできた公演だった。しかしそんなことをすればバンドの哲学に反することになっただろう。「勤勉なバンドなんだ」と当時ヴァン・ザントは言っていた。「みんなステージに上がる

のを楽しみにしていて、みんな100%を出し切ろうとするんだ。小さい場所だって忘れない。怠けてダラス、ニューヨーク、ロスアンゼルスといった大都市でだけ演奏していることもできる。そうすれば良い暮らしができるけど、おれたちは聴いてくれる人たちのところへ行きたいんだ。十分な時間待っててくれれば、きみたちに会いに行くよ」

熱心なスキナードのファンにとって実に嬉しいことに、フレズノのセランド・アリーナでの公演は間もなく発売されるアルバム収録の新曲の初のプレビューで、「ホワッツ・ユア・ネーム」、「ザット・スマル」、「ユー・ガット・ザット・ライト」、「エイント・ノー・グッド・ライフ」が含まれていた。「エイント・ノー・グッド・ライフ」はギターの手グレイヴ・ゲインズが書いた曲で、リード・ヴォーカルもつとめている。ヴァン・ザントは次のように語っている。「以前は、ゲイリー・ロッシントン、アレン・コリンズ、それにおれが曲を書いていた。音楽的に負担だったんだ。でも今はアーティマス・パイル、ピリー・パウエル、レオン・ウィルクソン、ステイヴ・ゲインズが本領を発揮して曲を書いている。プレッシャーから解放されて、おれたちの音楽に別の次元が加わっているんだ」

フレズノの演奏は、次の晩の巨大なアナハイム・スタジアムでの公演の準備運動でもあった。アナハイムではスキナードは「モーターシティ・マッドマン」ことテッド・ニュージェントと共演した。ニュージェントは全力でこの「ビッグA」スタジアムを根底から揺さぶった。それから、見事な満月の下、スキナードはステージ上、巨大な南部連合旗をバックにマールボロ・カントリーのテーマに合わせて歩き回り、5万7千人のロック・ファンで満員のスタジアム上空に何百もの黄色と白の風船が浮かんだ。

「テッドの後に続けて演奏するのは簡単なことではない」と〈ビルボード〉誌はレビューで書いている。「しかし、スキナードの熱い演奏のギターと、ロニー・ヴァン・ザントのうなるヴォーカルは一步も踏み外すことなく、正確に作られた成功である着実に組み立てられたショーを聴衆に聴かせた。最後のアンコールで客席に光が当たると、スキナードは『フリー・バード』に全力を尽くし、すさまじいクレッシェンドで最後の曲を締めくくると満足して笑顔になった聴衆を送り出した」

「サウンドは緊張感があり、ハードで完全だった」スキナードのアナハイムでの演奏の批評記事を書いたもうひとりのジャーナリス

ト、イギリスの週刊音楽誌〈サウンズ〉の記者は指摘している。「報道席も揺れるのが感じられるほどだった。聴衆がバンドに夢中になり、バンドも聴衆に夢中になり、そして——スキナードがショーをさらってしまった、ただそれだけだ」

スキナードのアナハイム公演は予定されていたスキナードの「サヴァイヴァーズ・ツアー」の前兆だった。アメリカ全土を回るそのツアーは秋の『ストリート・サヴァイヴァーズ』のための大規模なキャンペーン・ツアーで、アメリカ国内で大きくブレイクするはずだった。それが果たせなかった代わりに、8月のスキナードのカリフォルニアへの短いツアーはバンドの最後の姿を垣間見せてくれる。フロリダ州ジャクソンビル出身のメンバーたちは1977年のあの最後の日々の約束をまだ実現しはじめたばかりだったという事実、彼らの伝説が影を投げかけている。

—— ロン・オブライエン

対訳：猪股知子 (R.I.C. Publications)

1. What's Your Name

Well, it's eight o'clock in Boise, Idaho
I'll find my limo driver
Mister, take us to the show
I done made some plans for later on tonight
I'll find a little queen
And I know I can treat her right

* What's your name, little girl
What's your name

* * Shootin' you straight, little girl
Won't you do the same

Back at the hotel, Lord we got such a mess
It seems that one of the crew
Had a go with one of the guests, oh yes
Well, the police said we can't drink in the bar
What a shame, won't you come upstairs girl
And have a drink of champagne

(* Repeat)

* * * Shootin' you straight, little girl
For there ain't no shame

(* Repeat)
(* * Repeat)
(* Repeat)
(* * Repeat)

Nine o'clock the next day and I'm ready to go
I got six hundred miles to ride to do one more show, oh no
Can I get you a taxi home, it sure was grand
When I come back here next year I wanna see you again

(* Repeat)
(* * * Repeat)

(* Repeat)
(* * Repeat)

2. That Smell

Whiskey bottles and brand new cars
Oak tree, you're in my way
There's too much coke and too much smoke
Look what's going on inside you

* Ooh that smell, can't you smell that smell
Ooh that smell, the smell of death surrounds you

Angel of darkness is upon you
Stuck a needle in your arm
So take another toke, have a blow for your nose
One more drink, fool, will drown you

(* Repeat)

Now they call you prince charming
Can't speak a word when you're full of ludes
Say you'll be all right come tomorrow
But tomorrow might not be here for you

(* Repeat)

Hey, you're a fool you
Stick them needles in your arm
I know I been there before

One little problem that confronts you
Got a monkey on your back
Just one more fix, Lord might do the trick
One hell of a price for you to get your kicks

(* Repeat)

3. One More Time

How can you stand there smillin' after all you've done
You know it seems to make you happy
when you've hurt someone

Twice before you fooled me with your deceivin' and lyin'
Come in and close the door one more time, one more time

Yeah you've been gone so long, no one knows where
And you say that you still love me, then show me you care

Cause you got what it takes,
sweet mama to make a man feel fine
So I'll take the word of a liar one more time, one more time

* Girl you've got me hungry, losin' my mind
I know I'm playin' with fire, get burned every time

Yes I'm a fool for you, baby I can't deny
But I got to have your sweet love one more time,
one more time

(* Repeat)

Yes I'm a fool for you mama, I can't deny
But I got to have your sweet love one more time,
one more time

Yes I'm her fool once more, I can read her brown eyes
But when the rooster crows tomorrow,
well it's her turn to cry

I'm headed down that old road, she lost her free ride
So tonight I'll take what I paid for one more time,
one more time, one more time

4. I Know A Little

Yes sir...

Well the bigger the city, well the brighter the lights
The bigger the dog, well the harder the bite
I don't know where you been last night
But I think mama, you ain't doin' right

* Say I know a little, I know a little about it
I know a little, I know a little about it
I know a little about love, baby I can guess the rest

Well now I don't read that daily news
cause it ain't hard to figure
Where people get the blues,
they can't dig what they can't use
If they stick to themselves, they'd be much less abused

(* Repeat)

Play me a little, oh yeah

Well if you want me to be your only man
Said listen up mama, teach you all I can
Do right baby, by your man
Don't worry mama, teach you all I can

(* Repeat)

Well I know a little about love
Baby I want your best

5. You Got That Right

Well I've heard lots of people say
They're gonna settle down
You don't see their faces and they don't come around
Well I'm not that way, I got to move along

* I like to drink and to dance all night
Comes to a fix, not afraid to fight, you got that right

Said, you got that right, sure got that right

Seems so long I been out on my own
Travel light and I'm always alone
Guess I was born with a travellin' bone
When my times up, I'll hold my own
You won't find me in an old folks home, you got that right

* * Said, you got that right, well, you got that right
Sure got that right

I tried everything in my life, things I like I try them twice
You got that right, sure got that right

Travellin' around the world, just singing my song
I got to go, Lord I can't stay long
Here comes that old travellin' jones once again

(* Repeat)
(* * Repeat)

6. I Never Dreamed

My daddy told me always be strong son
Don't you ever cry, you find the pretty girls
And then you love them, then you say goodbye
I never dreamed that you would leave me
But now you're gone

I never dreamed that I would miss you
Woman won't you come back home

I never dreamed that you could hurt me
And leave me blue
I've had a thousand, maybe more
But never one like you
I never dreamed I could feel so empty
But now I'm down
I never dreamed that I would beg you
Woman I need you now

It seems to me I took your love for granted
It feels to me that this time I was wrong, so wrong
Oh Lord how I feel so lonely
I say woman won't you come back home

I tried to do what my daddy taught me
But I think he knew
Someday that I would find one woman like you
I never dreamed that it could feel so good, Lord
That two could be one
I never knew about sweet love
So woman won't you come back home
Oh baby won't you come back home

7. Honky Tonk Night Time Man

Little bit of Bakersfield....

* I'm a honky-tonk nighttime man
I can't stand no light
I'm a honky-tonk nighttime man
I can't stand no light

I get my rest in the daytime
Do my runnin' around at night

I had the blues this morning
Had the blues all day today
I had the blues this morning
Had the blues all day today

Well I wish a tornado come
And blow my blues away, away
That's what I said take them away

"Sounds like Roy...yeah!"

Then my heart starts beatin'
When that sun starts sinkin' low
Well my heart starts beatin'
When that sun starts sinkin' low

When the shadows fall
I know its time for me to go

"Billy Powell on piano!"

"Oh Barry, play me some dobro!"

(* Repeat)

I get my rest in the daytime
I do my runnin' around, round at night
I get my rest in the day time
Gets that old love sweet stuff at night

8. Ain't No Good Life

Ain't no good life, not the one that I lead
Cause the more I fight the sadness, yeah
Only seems the more that I grieve
Well I look back on the good times as some lost part of me
I wanna know, tell me why is it so
Well just because I don't pray

Lord, that don't mean I ain't forgiven
Just cause I'm alive that don't mean I'm makin' a livin'

I'm gonna get myself together, I'm gonna try a dyin' attempt
Talkin' about the good times slippin' by
Yeah I tell you, I don't even know where last month went
Well I can't make no money baby
Well cause my money's already spent
And I know where it went, I said it went on that damn rent
Well I don't mean change, baby,
I mean foldin' money, well I want lovin'
Said I don't need a buddy, I don't need nobody, now

Ain't exactly my idea it's sort of old, borrowed and blue
Just tryin' to say don't try that straight life buddy
Oh you'll find it kind of hard on you
Women, don't try to cook nothin' up, ooh
Brother you know you'll only wind up in your own stew
Just don't let nobody tell you, oh what you ought to do

1. ホワッツ・ユア・ネーム

アイダホ州はボイジ 午後8時
リムジン・ドライバーを見つけよう
ミスター 会場まで連れて行ってくれ
ショーのあとの予定は決めてある
いい女を見つけて
かわいがってやるのさ

*お嬢ちゃん 何て名前だい
名前を教えてくださいよ

**楽しませてやる
だからお前も楽しませてくれ

ホテルでは酷い目にあった
クルーのひとりご
俺たちの客とやり合った
オマワリは 俺たちをバーから締め出した
酷い話だ だからお嬢ちゃん
部屋に来て シャンパンでも飲まないか

(*くり返し)

**楽しませてやる
決して後悔させない

(*くり返し)
(**くり返し)
(*くり返し)
(**くり返し)

翌日の9時 俺は出発する
600マイル先でショーがあるから
タクシーを呼んであげよう 最高に楽しかった
来年 この町に来たら きっとまた会おう

(*くり返し)
(**くり返し)

(*くり返し)
(**くり返し)

2. ザット・スメル

ウィスキーのボトルに真新しい車
オークの木が目の前を遮る
クスリも煙も多過ぎる
自分に何が起きているかよく考えるんだ

*あの匂い あの匂いを感じないか
お前を取り囲む死の匂いを

暗闇の天使はお前のそばを離れようとし
腕に針を刺したまま
お前は服を着て 鼻から吸い込む
もう一杯やったら きっとそれでおしまい

(*くり返し)

皆はお前を理想の男だというけれど
クスリをきめていると口を利くことさえできない
明日は大丈夫 お前はそう言うけれど
お前に明日があるとは限らない

(*くり返し)

お前は愚かだよ
腕には針が刺さっている
わかっている俺も昔はそうだった

お前は問題に直面している
ちょっとやさっとじゃ解決できやしない
もう一発きめたなら 効き目もあるかもしれない
楽しみたいのなら それなりのカネが必要

(*くり返し)

3. ワン・モア・タイム

自分のしてかしたことがわかっていて
どうして微笑んでいられる
誰かを傷付けたとき
お前は満たされた気分になるらしい

今までに二回 お前は俺に嘘をつき 俺を欺いた
中において 扉を閉めて もう一度 もう一度

そう 長いあいだ お前はどこかに行っていた
お前の所在は誰も知らなかった
今もまだ お前は愛していると言いつつ
俺に思いやりを見せる

お前には男を喜ばせる何かがある
だから俺は 嘘つきだとわかっていて信じてしまう
もう一度 もう一度

*お前は俺に ひもじい思いをさせる
俺は正気を失ってしまう
危険な遊びだとわかっている いつだって
きまってる火傷するのは俺

俺はお前に夢中 愚かだと気付いている
それでもまだ お前の愛を求めずにはいられない
もう一度 もう一度

(*くり返し)

俺はお前に夢中 愚かだと気付いている
それでもお前の愛が必要 もう一度 もう一度

そう 俺はまた彼女に弄ばれている
あの褐色の瞳の奥にある思いに気付いている
だけど今度はちがう 明日 涙を流すのは
俺じゃなく彼女の方

俺はあの見慣れた道を下っていく
もう彼女に甘い汁は吸わせない
今夜 俺は対価を得る もう一度
彼女に奪われたものの対価を

4. アイ・ノウ・ア・リトル

そうとも...

大きな街ほど 灯りは眩しいもの
大きな犬ほど 噛まれたときの傷は深いもの
夕べ どこにいたのかは知らない
だけどお前が過ちを犯していることはわかっている

*少しは知っている 何も知らないわけじゃない
少しはわかっている 何も知らないわけじゃない
愛がどんなものなのか おおよその見当はつく

新聞なんて読まない どのみち理解できないから
落ち込んだとき
人は自分の役に立たないものには興味を持ってない
自分自身に執着するならなおさらのこと

(*くり返し)

聴かせてくれよ

恋人になってほしいなら
俺に言えることを残らず教えてやる
過ちを犯してはだめ 恋人の言うことを聞いて
どうすればいいか教えてやろう

(*くり返し)

愛について 詳しいわけじゃない
ただお前にベストを尽くしてほしいだけ